



名城大学生が三河湾の環境を学びました

～三河湾の環境と保全の実態を学ぶための海洋実習を実施～

1. 概要

8月23日、名城大学の院生・学生・教職員の16名が三河湾域の海洋環境の実態や環境保全に係る基礎知識を習得するために海洋実習が実施されました。

本実習は愛知県水産試験場と共同で開催され、当事務所が所有する港湾業務艇「しおさい」を使用し、海上において、水産試験場の職員による指導のもと、水質調査や底質調査などを行いました。また、水産試験場に戻ってから、採水した海水中のプランクトンを顕微鏡で観察を行った後、当事務所職員から港の役割と環境保全に向けた取組について、水産試験場職員から三河湾における水産業と環境実態についての講義が行われました。

2. 日時 平成28年8月23日(火) 9:00～15:30

3. 配布先 中部地方整備局記者クラブ、豊橋市政記者会、港湾新聞、港湾空港タイムス、日本海事新聞、海事プレス

4. 問合せ先

国土交通省 中部地方整備局 三河港湾事務所 企画調整課 山口(やまぐち)

Tel 0532-32-3252 Fax 0532-32-5049

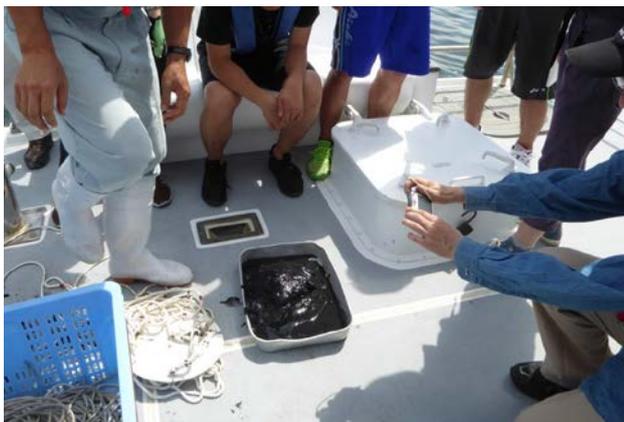
【当日の様子】



透明度調査



水質調査（水温、塩分、溶存酸素、クロフィル）



採泥した砂泥の観察



船内の様子（調査結果の取りまとめ）



顕微鏡を使ったプランクトンの観察



水産試験場での講義